

土壌理化学性改善による ベニアズマの収量・品質向上と経済性

みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センター農業研究所

青果用かんしょ「ベニアズマ」の収量・品質は、可給態リン酸含量の改善、オガクズ牛ふん堆肥の投入および深耕を組み合わせて向上します。また、純収益は2年に1回の改善で向上します。

土壌理化学性改善 による収量・品質の向上

〔改善内容〕

可給態リン酸含量を10mg/100g
(深さ40cmまでの土層に対して)に
改良

オガクズ牛ふん堆肥を300kg/a散布
深耕(深さ40cm付近まで)

改善ほ場は、未改善ほ場に比べてかん
しょの収量が10～20%上回ります。また、
改善ほ場は未改善ほ場に比べてA品率
が13～19%高まります。

リン酸質資材
オガクズ牛ふん堆肥



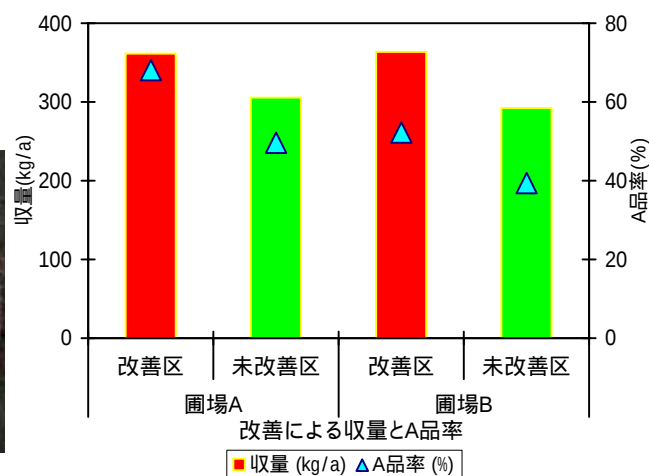
深耕ロータリ



改善区



未改善区



改善効果の経済性

改善により10a当りの費用は増加しますが、収量
およびA品率が高まり、粗収益が向上します。改善
効果には持続性が認められ、10a当りの純収益は、
2年に1回の改善で向上します。

